

令和3年度 まちづくりトーク 主な意見

開催日： 11月9日(火)

会 場： 八次コミュニティセンター

1. 地域の防災

項目	参加者の発言	市の発言
自主防災組織について	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災活動について、市では伝達だけが目的になっており、今後どのような方向性で取り組むかなどが伝わってこない。危機管理課の地域への入り込みも含め、もっと住民への説明・意見交換の機会を増やしてほしい。また、他の地域の取組について情報提供をしてもらいたい。 ・八次地区の初動活動マニュアルを作成したが、市で内容確認をしていただき、マニュアルのアドバイスをお願いしたい。今年度、備品リストについても見直しをする予定である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主防災への一歩として、マニュアル等の取組を進めていただいております。心強い。他の地域では、県の「マイ・タイムライン」を活用されている。自らの防災行動計画で、災害の危険性のリスクを把握し、避難所への経路や避難にかかる時間を書いて見える化し、状況を把握することができるものである。自主防災会でこのような取組をされることも防災意識を高める方法になる。今後、他の地域の取組についても情報提供させていただく。 ・自主防災組織会長の意見交換の場を設ける予定である。この機会を利用して、情報交換をしていただきたい。また、12月には事務局長会議も行う予定である。「マイ・タイムライン」や要支援者について、実務的に説明をさせていただきご意見を伺いたい。職員が地域に入っていくことは必要と感じている。
防災意識・避難所	<ul style="list-style-type: none"> ・畠敷町側と南畑敷町側には、防災の考え方に違いがある。 ・三次高校グラウンドの隣にある黄幡墓地上がる道の法面が崩れないか心配をしている。 ・八次中学校が基幹避難所であるが、南畑敷町から避難するため橋を渡るのは危ない。南畑敷町で避難所となる施設はないか。三次高校の同窓会館や創価学会の建物を、現在レベル4で開設されるが、レベル3でも避難できるようにしてほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 馬洗川を境に防災意識の違いや、適正な避難所の配置について、地域の皆さんが安全で避難しやすい場所を把握されているので、今後の協議で検討をさせていただく。命を守るために、市立・県立を問わず、安全な場所を検討する。三次高校の法面については、現場確認をさせていただき、対応を検討する。
避難タワー	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に命山や避難タワー(鉄骨の)を設けている。旧市街地では、下畠敷だけ高い場所がない。土砂崩れのおそれがある箇所であり、八次中学校の避難所までは行きづらい。下畠敷に遊休地があるので市が購入し、車で避難できる避難タワー(防災センター)をつくることを検討してほしい。 ・藤谷クリニック、ゆうしゃいん三次、前田動物病院に災害時の支援をお願いしている。市から要請があれば協力すると言われた。 	<ul style="list-style-type: none"> 避難タワーは、地域の安全のための手法としてありうるが、市民ホールの前に雨水貯留施設をつくり、もう一か所も計画している。市・県・国では、それぞれ、内水被害を軽減するように取組を進めている。下畠敷地区には、避難する高台がないということは課題として認識させてもらう。
要支援者	<ul style="list-style-type: none"> 要支援者について名簿をいただいたが、まだ、地区として動き出していない。民生委員や消防署等の関係機関とのつながりもどくなっているのかわからないため、解決できるよう、市の協力をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理課で要綱を作成し、代表者会議で案を示した後、具体的に進めていきたい。 ・今回、防災というテーマについては、それぞれの地域で避難の仕方や地形等が異なっており事情が違う中で、市としても地域の現状を知りたいことから設定をした。それぞれの地域のものを作り上げることが大事であり、各地域の課題を整理して、有事の際の備えに繋げさせていただきたいと思う。今後、情報交換をしながら、具体的な中身についても決めていきたい。

2. 持続可能なまちづくりについてなど

項目	参加者の発言	市の発言
提案	<ul style="list-style-type: none"> ・畠敷町側の河川敷(旧鳥居橋と熊野橋)の遊歩道は整備されているが、南畑敷町側の遊歩道は未完成であり、舗装をしてほしい。 ・長土手に緩やかな流れの箇所がある。緩やかな流れを生かして、ポートやカヌー場に使用してもらいたい。 ・三次駅前にモニュメントを作してほしい。三次に来た記念写真が撮れるような駅にしてほしい。 ・三次ワインを「もののけ」のデザインの容器にしてみたらどうか。 ・尾関山のトンネルの活用。「もののけ」のモニュメントを作成し、一連の活性化策を行ったらいいのではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・長土手のカヌーなどの5件について、ご提案いただいた。「三次市かわまちづくり懇話会」など、国も川と触れ合うことについて積極的である。今後も、課題について共有させていただく。 ・尾関山一帯の旧三江線跡地については、市で取得しており「みよしSL保存倶楽部」の皆さんに協力していただき、清掃やトンネルウォーキングの際に、懐かしい写真やもののけミュージアムのキャラクターの写真などを映していただくなどのイベントも行っている。もののけミュージアムや三次町と連携して活用について検討している状況である。
渋滞緩和	<ul style="list-style-type: none"> ・中国やまなみ街道が開通し、交通量が増えて危ない。また、渋滞が多いので、時差式信号機に変更してもらいたい。市民ホール前の交差点では時差式信号機にもらい、渋滞が緩和できた。 ・夜間の大型車について看板等での左折について促すことはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 中国やまなみ街道により、交通量が増え、課題も多い。市民ホール前の交差点は、県により、右折信号機など改良をし、渋滞が緩和されている。渋滞緩和策、歩行者の安全対策に関して、県への要望を続けていく。